

44期生「スタディサプリ ENGLISH」を活用した授業実践と学習効果

1. 序論

2020年度4月より3年間、大和南高校44期生は「スタディサプリ ENGLISH」を副教材として活用し、英語学習を進めてきた。ここでは「スタディサプリ ENGLISH」を用いた実践例とそれらを活用することにより、生徒にどのような学習効果があったのかを見ていくことにする。

2. 実践例

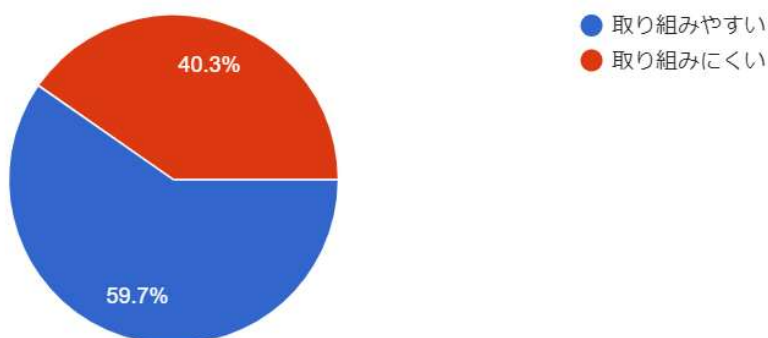
44期生は「スタディサプリ ENGLISH」の有効性を最大限に生かすために、主に定期的な「小テスト」と「インタビューテスト」といった学習活動を行った。

2-1. 小テスト

「スタディサプリ ENGLISH」の使用率を上げ、かつ英語力を向上させるため、スタディサプリ ENGLISHに取り組むことを毎週の宿題とし、その学習した範囲から週ごとに小テストを行った。小テストは主に2種類を行った。1つは聞いた英語をそのまま書きとるディクテーションテスト(聞き取る英語はスタディサプリ ENGLISH 中のスクリプトと同じものである)を行った。2つ目は聞いた英語を日本語にする翻訳テスト(同じく聞き取り英語は本アプリ中のスクリプト)を行った。

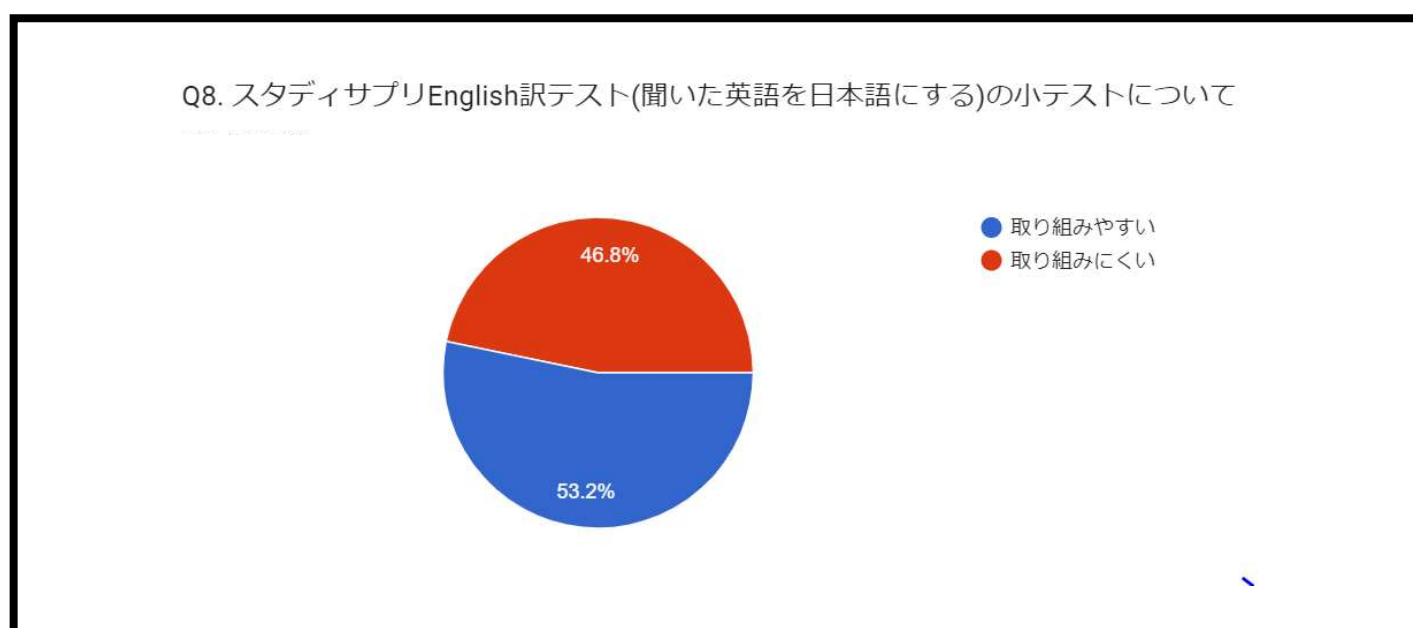
以下は生徒たちに小テストについてのアンケートをとった結果である。

Q6. スタディサプリEnglishディクテーションテスト(英語を聞いて書きとる)の小テストについて



主な感想、意見

- スペルを思い出す
- リスニング、ライティングも両方できるから
- 単語練習になる
- 英語を聞き取る力が身に着くから
- しっかりと勉強すれば取ることのできる問題だから
- スマホでできるから
- 聞こえた単語から大体このような意味だろうと推察することで英語力が身についていることを実感出来る
- 文が分かりやすい
- 会話に慣れるから



主な意見、感想

- じっくり考えられるから
- 単語の発音も覚えることが出来てさらに日本語訳もわかるから
- 自分の英語の翻訳力を身に着けられる
- 英語を日本語にすることで覚えることができる
- 分からない単語ばかりだったけどこの機会に知ることができたから
- 自分の実力がよくわかるから

考察

小テストは主にリスニングを強化するうえで有効であると肯定的な意見が多数挙げられた。また語彙補強にも大きな影響を与えていることが分かった。

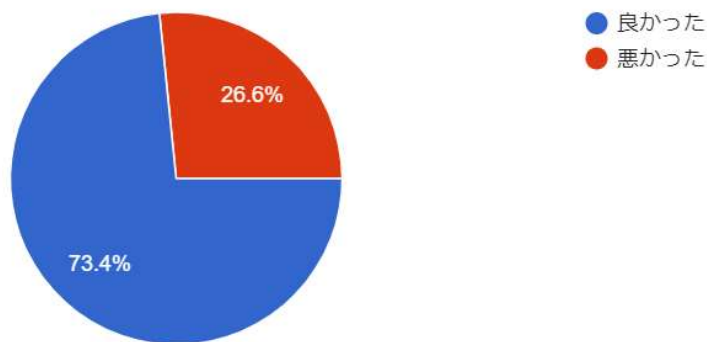
2-2. インタビューテスト

普段なかなか授業で扱うことのできていない「スピーキング」を強化するための取り組みとして「スタディサプリ ENGLISH」のスク립トを材料としたインタビューテストを2年次、3年次と計2種類行った。

2年次では「花屋」もしくは「レストラン」の場面設定がされているスク립トを用いたインタビューテストを行った。ただし、スク립トをそのまま暗唱するのではなく、生徒たちに発表直前にくじびきを引かせ、そのくじによって設定を変えそれを教員に伝えるというものを行った。(例えば、もともとのスク립トではレストランを訪れる人数は2人だがくじびきで「3人」と書かれたものを引いた場合はスク립ト中の人数を3人と置き換えて発表する)。表現、発音の習得だけでなく、場面に応じて語彙を変え臨機応変に英会話ができるようになることをねらいとした。

以下は生徒にその内容のアンケートをとったものである。

Q20. 2年次に行った「花屋orレストラン」のインタビューテストについて



主な意見、感想

- ・覚えるにはちょうどいい文章の長さでよかったです
- ・覚えやすかった
- ・発音練習があまりなかったからできてよかったと思う
- ・喋るのはいいと思った
- ・今後役に立つ
- ・日常で使いそうな単語とか会話を学ぶことができたから
- ・なかなか発表する場がなかったから
- ・英語での表現を知れた
- ・花屋にたまに行くから必要だと思った
- ・突発的に聞かれてもどちらも答えられるようにしたから対応力が身についた気がするから
- ・使う場面はなくてもある程度の流れを感じることができたから
- ・普段は意識しない発音一つ一つに注意するきっかけになったから
- ・実際に英語で会話する時の雰囲気味わえたから
- ・ストーリー性があったから

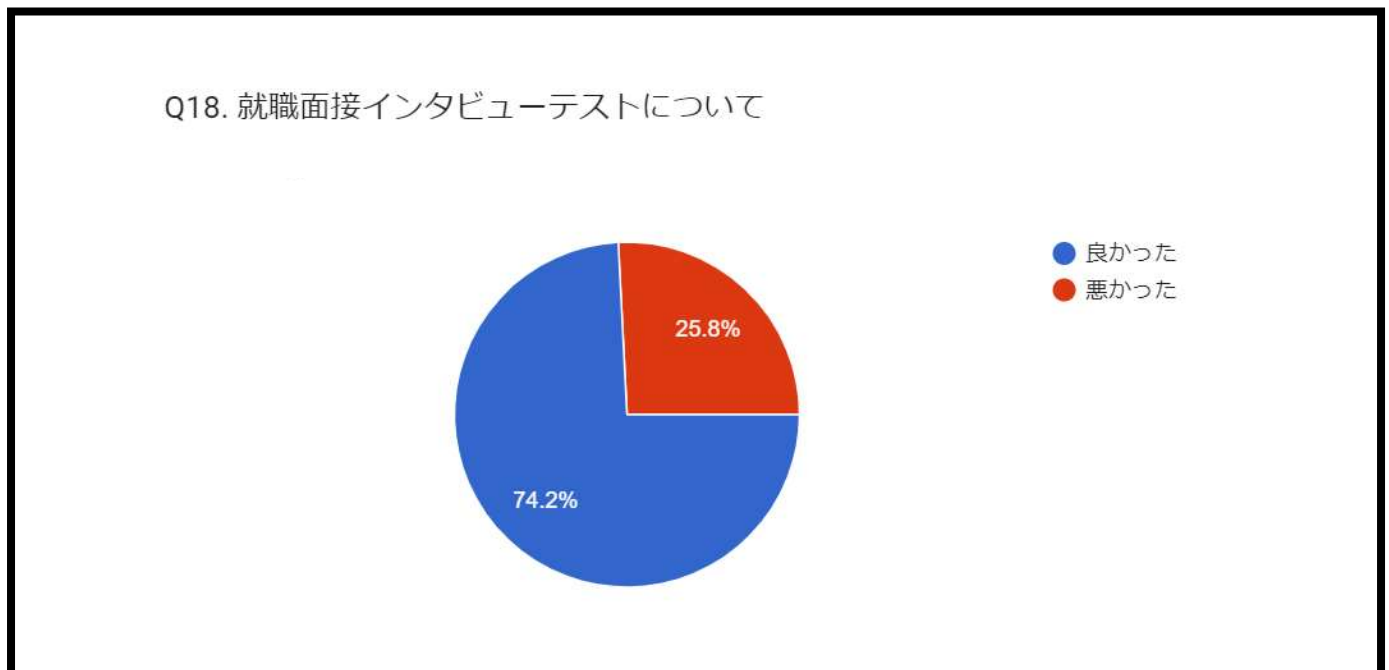
- ・くじが面白かった
- ・レストランや花屋での頼み方が分かったから

考察

「レストラン」や「花屋」といった生徒にとって身近な場面のインタビューテストを行ったことにより、生徒たちは実践を意識した会話力を身に着けることができた。また内容だけでなく発音にも意識して取り組むことができた。また、くじびきを用いたことによりその場に合った語彙の入れ替えをすることに楽しさを感じた生徒もいたようである。

3年次では、「就職面接」の場面設定がされているスクリプトを用いたインタビューテストを行った。こちら単なるスクリプトの暗唱に留まるのではなく、自分のことについて話せるようになることをねらいとし、スクリプトの一部を自分の表現に置き換え教員とロールプレイをするという内容のものを行った。(例えば、自分の長所、短所、尊敬できる人物は自分のことに書き直させ発表した)

以下は生徒にその内容のアンケートをとったものである。



主な意見、感想

- ・進路に繋がった
- ・自分が伝えたい内容を英語に変換して、伝えることが出来たのがよかったです
- ・スタサブで見るだけではダメだから先生の前で発表して自分の身についたか確認できると思ったから
- ・自分のことについて英語で話せるようになった
- ・面接の要素を考えることができた
- ・面接の緊張感を味わえた
- ・英語での面接がちょっと分かった気がするから
- ・先生と対峙して自分のことを英語で話すことによって、実際の面接のような緊張感を味わえたから

- ・自分の長所を英語でどう表現すればいいのかわかったから
- ・ストーリーを頭に入れて話したから

考察

こちらも2年次と同様に、実際の場面を想定しながら英会話に取り組むことができた。また、自分のことに置き換えて英文を作れたことに達成感と喜びを感じた生徒が多くいたようである。

2つのインタビューテストを通し、共通して言えることは「スタディサプリ ENGLISH」は臨場感をもって英会話をするのにとっても有用であったということである。

3. 結論

以下は生徒たちに「スタディサプリ ENGLISH」を用いて学習した全体的な感想をまとめたものである。

- ・単語も文も出来て、1つでたくさんのことを学べる
- ・インプット、アウトプットができているから
- ・英語の発表に役立てた
- ・単語覚えやすくなった
- ・以前よりも英語を聞き取れて日本語に訳せるようになったから
- ・場面ごとに会話文があるのでこのフレーズが使えるなど思うことができる
- ・日常で使う単語を、短い文章から学べて、始めやすく覚えやすいためよかったです。
- ・リスニングの副教材としては使い勝手がよい
- ・表現の幅が広がった
- ・単語の発音の仕方がわかった
- ・今まで聞き取れなかった言葉が少し聞き取れるようになった
- ・単語が書けるようになった
- ・わからない単語があっても発音を聞くことで単語のスペルも覚えられることができた
- ・どこでも英語が学べる環境でよかった

3年間「スタディサプリ ENGLISH」を用いたことにより、主に「スピーキング」と「リスニング」の向上につながった。それはスマホによりネイティブスピーカーの音声をいつでもどこでも聞くことができるため、発音の向上につながったと考える。また、生徒にとって身近な場面を用いた様々な英文スクリプトがあるため、臨場感をもって学習できたのも大きな要素である。また音声だけではなくポキャブラリービルディングの面からも有用であったことが分かった。

以上のことから、この3年間「スタディサプリ ENGLISH」を用いることにより、生徒たちは教科書だけでは網羅できない幅広い英語の表現、発音、音声、語彙を身に着けることができたと考える。